

DBd療法(ダラキューロ皮下注)を受けられる患者さまへ

患者様用

患者氏名:	様	受持医:	受持看護師:	月日経過	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目	11日目	12日目	13日目	14日目	15日目	退院日
達成目標	◆治療について理解できる ◆感染予防対策の必要性が理解できる	◆体温37.5℃以上の発熱がない ◆SpO2の低下がない ◆呼吸苦がない ◆末梢神経障害がない ◆消化器症状がない ◆感染予防が実施できる ◆皮膚がない ◆アナフィラキシーの出現がない ◆副作用が出た時は看護師へ伝えることができる	◆体温37.5℃以上の発熱がない ◆SpO2の低下がない ◆呼吸苦がない ◆末梢神経障害がない ◆消化器症状がない ◆感染予防が実施できる ◆副作用が軽度で治療が継続できる ◆皮膚がない ◆副作用が出た時は看護師へ伝えることができる	◆体温37.5℃以上の発熱がない ◆SpO2の低下がない ◆呼吸苦がない ◆末梢神経障害がない ◆消化器症状がない ◆感染予防が実施できる ◆副作用が軽度で治療が継続できる ◆皮膚がない ◆副作用が出た時は看護師へ伝えることができる	◆体温37.5℃以上の発熱がない ◆SpO2の低下がない ◆呼吸苦がない ◆末梢神経障害がない ◆消化器症状がない ◆感染予防が実施できる ◆副作用が軽度で治療が継続できる ◆皮膚がない ◆副作用が出た時は看護師へ伝えることができる	◆体温37.5℃以上の発熱がない ◆SpO2の低下がない ◆呼吸苦がない ◆末梢神経障害がない ◆消化器症状がない ◆感染予防が実施できる ◆副作用が軽度で治療が継続できる ◆皮膚がない ◆副作用が出た時は看護師へ伝えることができる	◆体温37.5℃以上の発熱がない ◆SpO2の低下がない ◆呼吸苦がない ◆末梢神経障害がない ◆消化器症状がない ◆感染予防が実施できる ◆副作用が軽度で治療が継続できる ◆皮膚がない ◆副作用が出た時は看護師へ伝えることができる	◆体温37.5℃以上の発熱がない ◆SpO2の低下がない ◆呼吸苦がない ◆末梢神経障害がない ◆消化器症状がない ◆感染予防が実施できる ◆副作用が軽度で治療が継続できる ◆皮膚がない ◆副作用が出た時は看護師へ伝えることができる	◆体温37.5℃以上の発熱がない ◆SpO2の低下がない ◆呼吸苦がない ◆末梢神経障害がない ◆消化器症状がない ◆感染予防が実施できる ◆副作用が軽度で治療が継続できる ◆皮膚がない ◆副作用が出た時は看護師へ伝えることができる	◆体温37.5℃以上の発熱がない ◆SpO2の低下がない ◆呼吸苦がない ◆末梢神経障害がない ◆消化器症状がない ◆感染予防が実施できる ◆副作用が軽度で治療が継続できる ◆皮膚がない ◆副作用が出た時は看護師へ伝えることができる	◆体温37.5℃以上の発熱がない ◆SpO2の低下がない ◆呼吸苦がない ◆末梢神経障害がない ◆消化器症状がない ◆感染予防が実施できる ◆副作用が軽度で治療が継続できる ◆皮膚がない ◆副作用が出た時は看護師へ伝えることができる	◆体温37.5℃以上の発熱がない ◆SpO2の低下がない ◆呼吸苦がない ◆末梢神経障害がない ◆消化器症状がない ◆感染予防が実施できる ◆副作用が軽度で治療が継続できる ◆皮膚がない ◆副作用が出た時は看護師へ伝えることができる	◆体温37.5℃以上の発熱がない ◆SpO2の低下がない ◆呼吸苦がない ◆末梢神経障害がない ◆消化器症状がない ◆感染予防が実施できる ◆副作用が軽度で治療が継続できる ◆皮膚がない ◆副作用が出た時は看護師へ伝えることができる	◆体温37.5℃以上の発熱がない ◆SpO2の低下がない ◆呼吸苦がない ◆末梢神経障害がない ◆消化器症状がない ◆感染予防が実施できる ◆副作用が軽度で治療が継続できる ◆皮膚がない ◆副作用が出た時は看護師へ伝えることができる	◆体温37.5℃以上の発熱がない ◆SpO2の低下がない ◆呼吸苦がない ◆末梢神経障害がない ◆消化器症状がない ◆感染予防が実施できる ◆副作用が軽度で治療が継続できる ◆皮膚がない ◆副作用が出た時は看護師へ伝えることができる	◆体温37.5℃以上の発熱がない ◆SpO2の低下がない ◆呼吸苦がない ◆末梢神経障害がない ◆消化器症状がない ◆感染予防が実施できる ◆副作用が軽度で治療が継続できる ◆皮膚がない ◆副作用が出た時は看護師へ伝えることができる	◆体温37.5℃以上の発熱がない ◆SpO2の低下がない ◆呼吸苦がない ◆末梢神経障害がない ◆消化器症状がない ◆感染予防が実施できる ◆副作用が軽度で治療が継続できる ◆皮膚がない ◆副作用が出た時は看護師へ伝えることができる	◆体温37.5℃以上の発熱がない ◆SpO2の低下がない ◆呼吸苦がない ◆末梢神経障害がない ◆消化器症状がない ◆感染予防が実施できる ◆副作用が軽度で治療が継続できる ◆皮膚がない ◆副作用が出た時は看護師へ伝えることができる	◆体温37.5℃以上の発熱がない ◆SpO2の低下がない ◆呼吸苦がない ◆末梢神経障害がない ◆消化器症状がない ◆感染予防が実施できる ◆副作用が軽度で治療が継続できる ◆皮膚がない ◆副作用が出た時は看護師へ伝えることができる	◆体温37.5℃以上の発熱がない ◆SpO2の低下がない ◆呼吸苦がない ◆末梢神経障害がない ◆消化器症状がない ◆感染予防が実施できる ◆副作用が軽度で治療が継続できる ◆皮膚がない ◆副作用が出た時は看護師へ伝えることができる
治療・薬剤 (点滴・内服)		【皮下注射】 ダラキューロ  ペルケイド  【内服】 朝食後 レナデックス  ☆ダラキューロ 投与1時間前 アセトアミノフェン レスタミンコーワ モンデカルスト	【皮下注射】 ダラキューロ  ペルケイド  【内服】 朝食後 レナデックス  ☆ダラキューロ 投与1時間前 アセトアミノフェン レスタミンコーワ モンデカルスト	【皮下注射】 ダラキューロ  ペルケイド  【内服】 朝食後 レナデックス  ☆ダラキューロ 投与1時間前 アセトアミノフェン レスタミンコーワ モンデカルスト	【皮下注射】 ダラキューロ  ペルケイド  【内服】 朝食後 レナデックス  ☆ダラキューロ 投与1時間前 アセトアミノフェン レスタミンコーワ モンデカルスト	【皮下注射】 ダラキューロ  ペルケイド  【内服】 朝食後 レナデックス  ☆ダラキューロ 投与1時間前 アセトアミノフェン レスタミンコーワ モンデカルスト	【皮下注射】 ダラキューロ  ペルケイド  【内服】 朝食後 レナデックス  ☆ダラキューロ 投与1時間前 アセトアミノフェン レスタミンコーワ モンデカルスト	【皮下注射】 ダラキューロ  ペルケイド  【内服】 朝食後 レナデックス  ☆ダラキューロ 投与1時間前 アセトアミノフェン レスタミンコーワ モンデカルスト	【皮下注射】 ダラキューロ  ペルケイド  【内服】 朝食後 レナデックス  ☆ダラキューロ 投与1時間前 アセトアミノフェン レスタミンコーワ モンデカルスト	【皮下注射】 ダラキューロ  ペルケイド  【内服】 朝食後 レナデックス  ☆ダラキューロ 投与1時間前 アセトアミノフェン レスタミンコーワ モンデカルスト	【皮下注射】 ダラキューロ  ペルケイド  【内服】 朝食後 レナデックス  ☆ダラキューロ 投与1時間前 アセトアミノフェン レスタミンコーワ モンデカルスト	【皮下注射】 ダラキューロ  ペルケイド  【内服】 朝食後 レナデックス  ☆ダラキューロ 投与1時間前 アセトアミノフェン レスタミンコーワ モンデカルスト	【皮下注射】 ダラキューロ  ペルケイド  【内服】 朝食後 レナデックス  ☆ダラキューロ 投与1時間前 アセトアミノフェン レスタミンコーワ モンデカルスト	【皮下注射】 ダラキューロ  ペルケイド  【内服】 朝食後 レナデックス  ☆ダラキューロ 投与1時間前 アセトアミノフェン レスタミンコーワ モンデカルスト	【皮下注射】 ダラキューロ  ペルケイド  【内服】 朝食後 レナデックス  ☆ダラキューロ 投与1時間前 アセトアミノフェン レスタミンコーワ モンデカルスト	【皮下注射】 ダラキューロ  ペルケイド  【内服】 朝食後 レナデックス  ☆ダラキューロ 投与1時間前 アセトアミノフェン レスタミンコーワ モンデカルスト	【皮下注射】 ダラキューロ  ペルケイド  【内服】 朝食後 レナデックス  ☆ダラキューロ 投与1時間前 アセトアミノフェン レスタミンコーワ モンデカルスト	【皮下注射】 ダラキューロ  ペルケイド  【内服】 朝食後 レナデックス  ☆ダラキューロ 投与1時間前 アセトアミノフェン レスタミンコーワ モンデカルスト	【皮下注射】 ダラキューロ  ペルケイド  【内服】 朝食後 レナデックス  ☆ダラキューロ 投与1時間前 アセトアミノフェン レスタミンコーワ モンデカルスト	
処置	ダラキューロ投与日は、インフュージョンリアクションを軽減するために、注射の1時間前にアレルギー予防の薬を内服していただきます。ダラキューロは3～8分かけて皮下注射します。注射した部位に痛みや痒み、皮疹が出現することがあります。注射する部位は、毎回変更します。																			
検査	入院日に採血があります。その後は必要に応じて行います。 尿量が少なくなったり、むくみが出現したりしたときは、看護師へお知らせください。水分はしっかり摂りましょう。																			
活動・安静度	病室内は、制限はありません。																			
食事	食欲や好みに合わせ、食事内容を変更することができます。 白血球が減少している時は、生もの禁止食へ変更することもあります。																			
清潔	シャワー浴または清拭ができます。 手洗い、うがいはまめに行ってください(うがい、起床時・各食後、眠前に毎日行いましょう)。 口内炎の予防にはうがい、歯磨きが重要です。																			
排泄	感染予防のため、排便後は必ずワシレットを使用しましょう。																			
患者様及びご家族への説明 リハビリ 栄養指導 服薬指導	薬剤師が内服についてご説明します。 また、看護師が感染予防対策(手洗い、うがい、歯磨き、生もの禁止など)について、入院日と退院前にご説明します。初めて治療を受けられる方には、「化学療法を受けられる患者さまへ」のパンフレットをお渡しします。 外来治療へ移行する場合は、退院前に外来化学療法センターにてオリエンテーションを行います。																			
チェック項目	治療1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目	11日目	12日目	13日目	14日目	15日目					
発熱	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無					
呼吸	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無					
末梢	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無					
消化	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無					
感染	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無					
皮膚	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無					
アナフィラキシー	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無					
副作用	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無					
体重	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg					

注1 入院期間については現時点で予想される期間です。

国立病院機構熊本医療センター 2021年12月作成